

(1) 安全性

- ① **災害対策**：地震や津波・洪水に強い防災機能を備えた学校施設とし、児童・生徒が安心して学校生活を過ごせると共に、大規模地震時に地域の避難所としても活用することで、地域住民にも安心感を与えられる施設を目指します。

● 地震に強い学校施設

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none">● 構造体の耐震改修工事● 体育館など大規模空間の天井材や照明器具など落下防止対策工事● 窓ガラス、家具、書棚等の耐震対策
参考となる資料：「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」等

● 防災機能を備えた学校施設

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none">● 備蓄倉庫、防災トイレ、情報通信設備、自家発電設備、雨水貯留タンク、電源車用電気接続口、温水シャワー、太陽光発電設備等の整備● 体育館及び武道場について、避難所としての機能を強化するため、災害時に避難所本部とするための部屋やガス暖房付きの畳敷き武道場、多機能トイレ等を整備、窓ガラス、家具、書棚等の耐震対策● 保健室や給食室等の配置を救護スペースや避難所となる体育館等との位置関係に工夫して整備● 平常時には運動スペース、災害時には救援物資の荷さばきスペース等とするための半屋外の空間を整備● 災害時にプール水を飲料水等として活用できるよう浄水機能を有する水泳プールを整備● 屋内運動場にテレビ配線、電話配線及びインターネット LAN 配線を設置● 既存の受水槽に蛇口を設置● ガスの接続口を設置
参考となる資料：「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について (P22-31)」等

- ② **防犯・事故対策**：防犯カメラの設置やフェンスの設置などによる防犯対策や、安全ガラスの採用などにより犯罪・事故を未然に予防します。

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none"> ● 防犯カメラの設置 ● 老朽化により児童生徒に危険が及ぶような箇所の改修 ● 柱等に衝突時の怪我を防止するクッションを巻く ● ガラスに飛散防止用のフィルムを貼る ● 窓ガラスを強化ガラスにする ● 校内を見渡せる位置に職員室を配置する ● テレビ録画インターホンの設置 <p style="text-align: right;">参考となる資料：「学校施設の防犯対策に関する調査研究 報告書」 「学校施設における事故防止の留意点について」等</p>

(2) 快適性

- ① **快適な学習環境**：子どもたちが学習に集中できるように、騒音・寒さ・暑さ対策を行い、学習能率の向上に資する快適な学習環境を整えると共に、教育・福祉・保健の視点から要支援児童もスムーズに就学可能なバリアフリー対策も行い、快適に過ごせる施設を目指します。

● 学習能率の向上に資する快適な学習環境

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none"> ● 校舎や屋内運動場の断熱化 ● エアコンの整備 ● トイレの改修 ● 木造校舎の建設や学校施設の内装木質化 ● 十分な収納スペースの整備 ● 音環境に配慮した諸室の配置計画や内装材の使用 ● 上下可動式黒板の整備 <p style="text-align: right;">参考となる資料：「トイレ発！明るく元気な学校づくり！！ -学校トイレ改善の取組事例集-」等</p>

● 児童生徒が学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none"> ● 校内や歩道に面した敷地の一部に樹木や生け垣などを整備 ● 校内や歩道に面した敷地の一部に植え込み・花壇などを整備 <p style="text-align: right;">参考となる資料：「新たな学校施設づくりのアイデア集（P59-60）」</p>

第2章 学校施設に関する市の現状・課題・目指すべき姿

2-3 学校施設の目指すべき姿

● バリアフリーに配慮した環境

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none">● スロープや手すり、段差の解消など、バリアフリーに配慮した施設を整備● 障害者用トイレ・多目的トイレを整備
参考となる資料：「学校施設のバリアフリー化等に関する事例集」

- ② **教員に配慮した空間**：先生をもっと身近に感じられ、かつ働きやすい環境にすることで、子どもたちや保護者との信頼関係構築につながる施設を目指します。

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none">● 職員が休憩するスペース、教職員同士がコミュニケーションをとるための環境を整備
参考となる資料：「新たな学校施設づくりのアイデア集（P37-38）」

(3) 学修活動への適応性

各学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動と、義務教育 9 年間を見通した組織的・計画的・継続的な学校教育活動の充実を図り、主体性や表現力、好奇心を育むことのできる施設を目指します。

● 各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none">● ホールや階段状の空間を整備
「新たな学校施設づくりのアイデア集（P10、P25-26）」等

● 充実した観察・実験を行うための環境

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none">● 第2理科教室の整備● 演示実験が行いやすいように実験機を配置● 屋外の実験・観察空間を整備● 理科教室、理科準備室、ビオトープなどの関係諸室等を近接して配置
参考となる資料：「これからの小・中学校施設」等

● 伝統や文化に関する教育を行うための環境

考えられる対策メニュー

- 茶道などを体験するための和室の整備
- 地域の文化や伝統等の資料を展示する場の整備

参考となる資料：「新たな学校施設づくりのアイデア集（P61-62）」等

● 充実したキャリア教育・進路指導を行うための環境

考えられる対策メニュー

- 就職関係資料やインターネットに接続されたパソコン等を配備したキャリア情報センターを整備
- キャリア・カウンセリングのための空間を整備
- 企業からの外部講師が行う出前授業のための準備スペースを整備

参考となる資料：「これからの高等学校施設」等

● 食育のための空間

考えられる対策メニュー

- 家庭科調理室、ランチスペース等の空間を連続的に配置

参考となる資料：「新たな学校施設づくりのアイデア集（P47-48）」等

● 充実した運動ができる環境

考えられる対策メニュー

- 廊下等身近な場所に安全性を考慮した上で運動ができる空間を整備
- 多種目のスポーツに対応可能な体育館、武道場を整備
- 平常時には全天候型の運動スペース、災害時には救援物資の荷さばきスペース等とするための半屋外の運動スペースを整備

参考となる資料：「新たな学校施設づくりのアイデア集（P43-44）」等

● **子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境**

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none"> ● 個人やグループで自習するスペースを、図書室や廊下、共有スペース等に計画 ● 図書室の学校中央への計画やコンピュータ室と一室で整備するなど、図書室の配置に留意 ● 図書室や廊下、共有スペース等に自習用の机を設置 ● 廊下に読書コーナーを整備 ● 図書室の中に周囲と音を遮れる小空間、畳やカーペット敷きの座れるスペース等を計画 <p style="text-align: right;">参考となる資料：「新たな学校施設づくりのアイデア集（P19-22）」等</p>

● **外国語活動等における児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間**

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none"> ● 外国語活動等で用いる教室をじゅうたん敷きにする ● ペアやグループでの活動により積極的にコミュニケーションが図りやすく、外国語への親しみが湧くような空間の整備 <p style="text-align: right;">参考となる資料：「新たな学校施設づくりのアイデア集（P27-28）」等</p>

(4) 環境への適応性

太陽光発電や雨水利用、グリーンカーテン、内装の木質化などの導入を検討し、地域にとっての環境・エネルギー教育の発信拠点になると共に、地域における地球温暖化対策の推進・啓発の先導的な役割を果たすことができる施設を目指します。

● **環境を考慮した学校施設（エコスクール）**

考えられる対策メニュー
<ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電、風力発電設備を整備 ● 光庭や光ダクトなどにより太陽光を利用 ● 雨水を中水として利用するため、雨水タンクを設置 ● 校庭芝生化や屋上緑化 ● 木材の利用を推進するため、木造校舎の建設や学校施設の内装木質化 ● 緑のカーテンを整備 ● 高効率照明器具などへの改修 ● 窓の複層ガラス化 <p style="text-align: right;">参考となる資料：「すべての学校でエコスクールづくりを目指して」 「環境教育に活用できる学校づくり実践事例集」 「こうやって作る木の学校～木材利用の進め方のポイント、工夫事例～」等</p>

(5) 地域の拠点化

各地域、各世代が抱える課題やニーズを的確に捉え、図書館や体育館、空き教室などを地域に開放できるよう検討し、学校教育環境と地域の人たちの学習環境とが相乗的に向上し、学校が暮らしの一部となり地域にとってより身近な存在となるような施設を目指します。

● 地域に開かれた学校とするための環境

考えられる対策メニュー

- 学校運営協議会委員や学校評議員の活動スペース、学校支援ボランティア等の地域住民の活動拠点となるスペースや会議室を整備
- 放課後児童クラブや放課後子ども教室等の子どもの居場所となる部屋を整備するとともに、地域開放を前提とした計画を行う
- 図書館や体育館、ホール、特別教室などを地域に開放できるよう計画

参考となる資料：「新たな学校施設づくりのアイデア集（P67-72）」等

● 地域の生涯学習等の拠点となる学校施設

考えられる対策メニュー

- 公民館、図書館、音楽ホール等の社会教育施設との複合化

参考となる資料：「新たな学校施設づくりのアイデア集（P47-48）」等

第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 対象施設一覧

本市の対象施設は、小学校が9校、中学校が5校の計14施設で、それぞれの建設年や床面積等については、以下のとおりです。

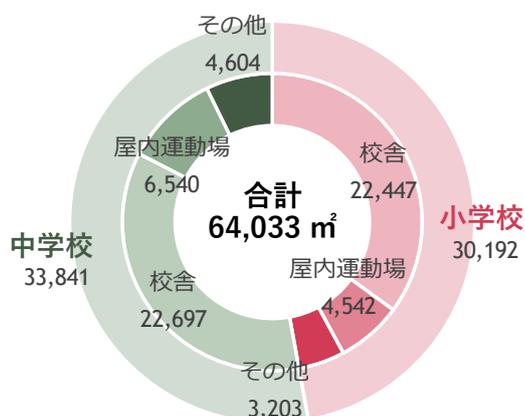


図 学校施設の用途別内訳と床面積 [m²]

	用途	m ²
小学校	校舎	22,447
	屋内運動場	4,542
	その他	3,203
中学校	校舎	22,697
	屋内運動場	6,540
	その他	4,604
合計		64,033

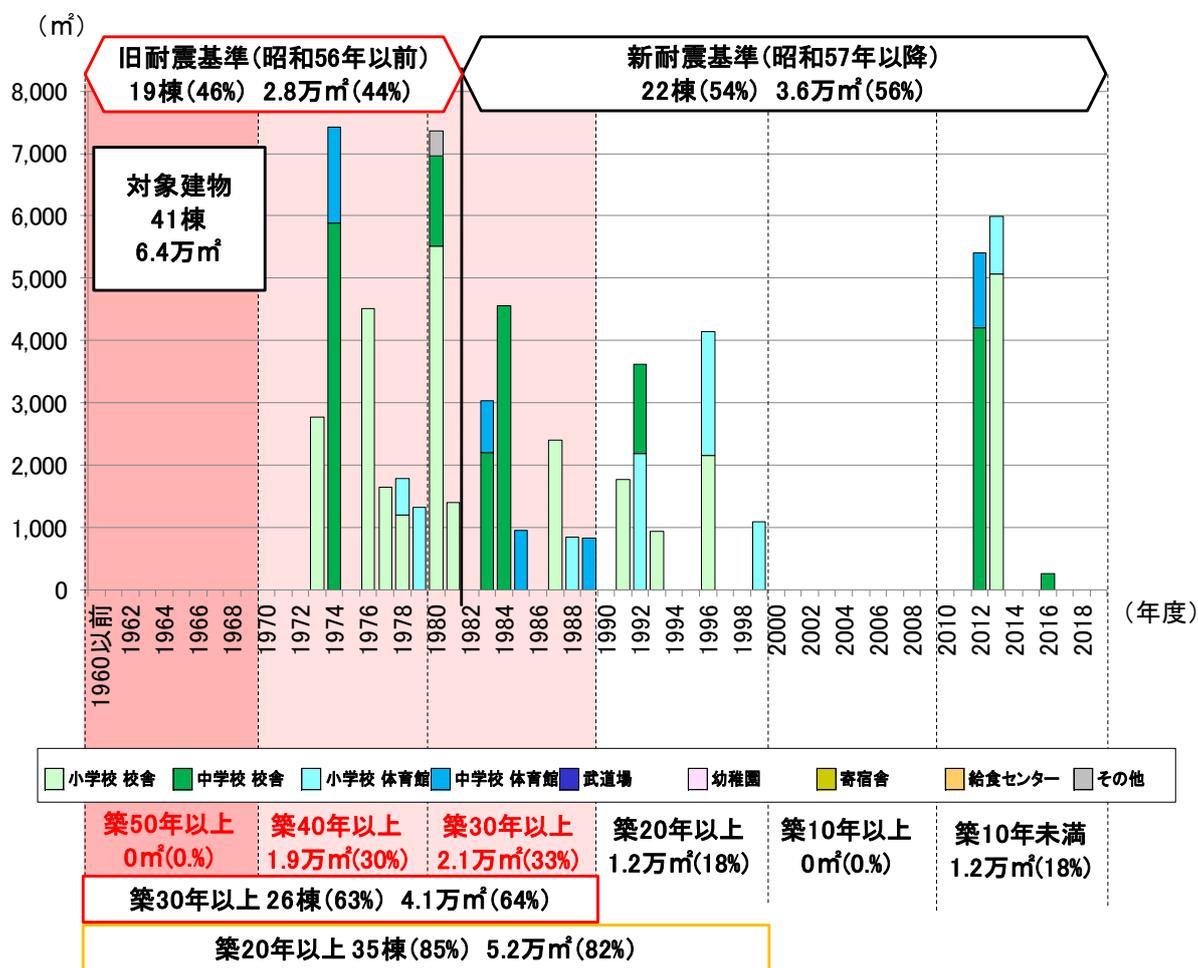
学校名	用途	構造	階数	床面積	建築年		築年数
					西暦	和暦	
窪小学校	校舎	R	3	2,172	1976	S51	43
	校舎	R	3	2,347	1976	S51	43
	体育館	R	2	1,193	1992	H4	27
灘浦小学校	校舎	R	3	2,400	1987	S62	32
	体育館	R	2	849	1988	S63	31
湖南小学校	校舎	R	2	1,432	1973	S48	46
	校舎	R	2	1,343	1973	S48	46
	体育館	R	2	1,094	1999	H11	20
海峰小学校	校舎	R	2	2,157	1996	H8	23
	体育館	R	2	873	1996	H8	23
上庄小学校	校舎	R	3	1,391	1981	S56	38
	体育館	R	2	997	1992	H4	27
	校舎	R	3	930	1993	H5	26
十二町小学校	校舎	R	2	1,773	1991	H3	28
	体育館	R	2	1,112	1996	H8	23
宮田小学校	校舎	R	3	1,638	1977	S52	42
	校舎	R	3	1,191	1978	S53	41
	体育館	S	1	585	1978	S53	41
朝日丘小学校	校舎	R	3	5,072	2013	H25	6
	体育館	R	2	920	2013	H25	6
比美乃江小学校	体育館	S	2	1,315	1979	S54	40
	校舎	R	3	3,412	1980	S55	39
	体育館	R	3	1,054	1980	S55	39
	校舎	R	3	1,054	1980	S55	39
北部中学校	校舎	R	3	1,749	1974	S49	45
	校舎	R	3	381	1974	S49	45
	校舎	R	4	2,507	1974	S49	45
	体育館	R	2	1,535	1974	S49	45
	校舎	R	3	1,249	1974	S49	45
十三中学校	校舎	R	3	2,206	1983	S58	36
	体育館	S	2	830	1983	S58	36
	校舎	S	2	259	2016	H28	3
南部中学校	校舎	R	3	3,918	2012	H24	7
	体育館	R	2	1,200	2012	H24	7
	その他	R	1	281	2012	H24	7
西條中学校	校舎	R	3	4,562	1984	S59	35
	体育館	S	2	952	1985	S60	34
西部中学校	校舎	R	3	1,435	1980	S55	39
	寄宿舎	R	2	405	1980	S55	39
	体育館	S	2	830	1989	H元	30
	校舎	R	2	1,430	1992	H4	27

(2) 学校施設の保有量

対象施設の延床面積を建築年度別にみると、全41棟のうち築30年以上の建物は、26棟となっており63%を占めています。

また、旧耐震基準(昭和56年以前)による建物は19棟(46%)を占めていますが、『水見市小中学校将来計画』(平成21~30年)にて統合の検討対象となった学校を除き、耐震工事が必要と診断された小中学校については、耐震工事が完了しています。

図 築年別整備状況 (2019年)



第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

2019年時点での学校施設について、10年ごとの築年数別床面積の推移を示したものが次の表です。10年後の2029年の段階ですでに築30年超えが80.1%となります。

表 経年変化による築年数別床面積の割合

築年数	2019年		2029年		2039年		2049年	
	m	%	m	%	m	%	m	%
60年超え	0	0.0%	0	0.0%	18,129	28.3%	39,994	62.5%
築51～60年	0	0.0%	18,129	28.3%	21,865	34.1%	11,295	17.6%
築41～50年	18,129	28.3%	21,865	34.1%	11,295	17.6%	1,094	1.7%
築31～40年	21,865	34.1%	11,295	17.6%	1,094	1.7%	11,650	18.2%
築21～30年	11,295	17.6%	1,094	1.7%	11,650	18.2%	0	0.0%
築11～20年	1,094	1.7%	11,650	18.2%	0	0.0%	0	0.0%
築～10年	11,650	18.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

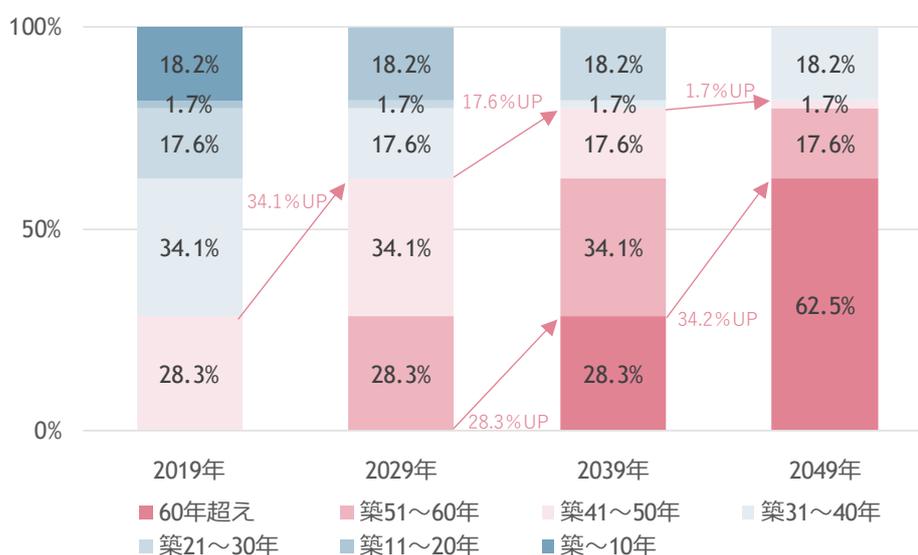


図 経年変化による築年数別床面積の割合

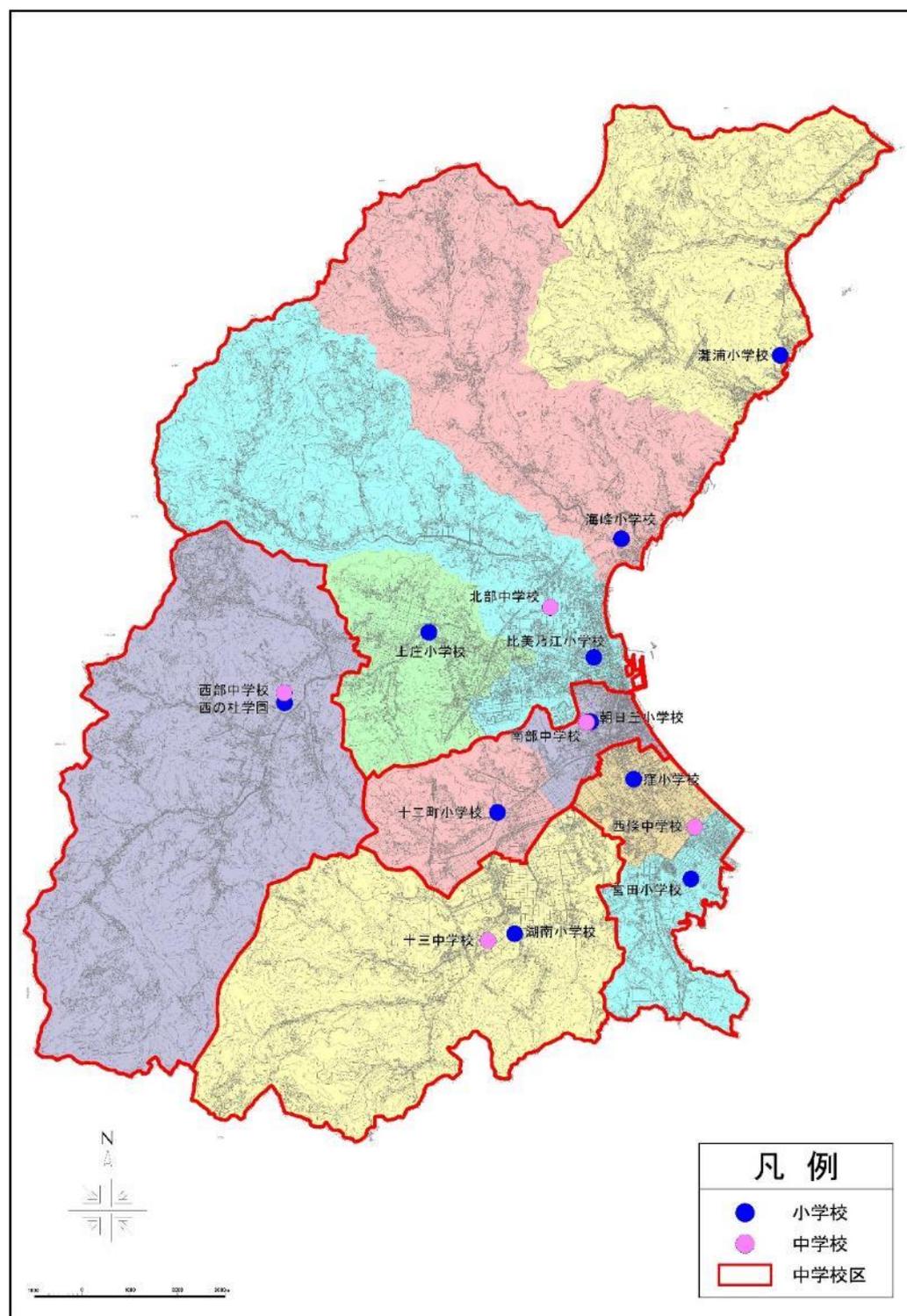
第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(3) 学校施設の配置状況

本市の学校施設の配置を以下の図に示します。すべての学校施設が災害の指定避難所となっています。

図 学校位置図



第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

表 氷見市の避難所・避難場所
(氷見市 HP より)

地区名	施設名	対象とする災害の種類				想定収容人数 2㎡あたり1人	指定避難所 との重複
		地震	土砂 災害	洪水	津波		
朝日丘地区	氷見市立南部中学校	○	○	○	○	1,952	○
	氷見市立朝日丘小学校	○	○	○	○	3,311	○
	旧氷見市立朝日丘小学校	●		○	●	87	
北部地区	氷見市立比美乃江小学校	○		☆	○	3,459	○
	氷見市立北部中学校	○	○	○	○	3,866	○
加納地区	氷見市立北部中学校 (再掲)	○	○	○	○	3,866	○
	氷見市立比美乃江小学校 (再掲)	○		○	○	3,459	○
稻積地区	氷見市立北部中学校 (再掲)	○	○	○	○	3,866	○
窪地区	氷見市立窪小学校	○	○	○	○	2,788	○
	氷見市立西條中学校	○	○		○	2,764	○
宮田地区	氷見市立宮田小学校	○	○	○	○	1,734	○
	氷見市立西條中学校 (再掲)	○	○	○	○	2764	○
布勢地区	氷見市立湖南小学校	○	○	☆		1,920	○
	氷見市立十三中学校	○	○	☆		1,618	○
仏生寺地区	氷見市立湖南小学校 (再掲)	○	○	○		1,920	○
	氷見市立十三中学校 (再掲)	○	○	○		1,618	○
上庄地区	氷見市立上庄小学校	○	○	☆		1,559	○
	氷見市学校給食センター	●	○			560	
明和地区	氷見市立明和小学校	●		○		1,198	○
	氷見市立西部中学校	○	△	○		2,139	○
速川地区	氷見市立速川小学校	○	○	☆		1,337	○
	氷見市立西部中学校 (再掲)	○	△	○		2,139	○
久目地区	氷見市立久目小学校	○	○			1,332	○
	氷見市立西部中学校 (再掲)	○	△	○		2,139	○
余川地区	氷見市立北部中学校 (再掲)	○	○	○	○	3,866	○
基石地区	旧氷見市立一勿小学校	●		○		464	○
阿尾地区	氷見市立海峰小学校	○	○	○	○	1,588	○
藪田地区	氷見市立海峰小学校 (再掲)	○	○	○	○	1,588	○
宇波地区	旧氷見市立灘浦小学校	●	○	☆	●	1,090	○
	氷見市立灘浦小学校	○		○	○	1,823	○
女良地区	氷見市立灘浦小学校	○		○	○	1,823	○

指定避難所：自宅もしくは仮設住宅に入居できるようになるまでの間、炊き出しや物資の提供等を受けながら過ごすための避難施設です。※避難所は緊急避難場所としても機能します。

○：屋内を避難場所として指定するもの

●：屋外を避難場所として指定するもの

△：土砂災害警戒区域にあり対策工事済みである避難場所（土砂災害の可能性が高まった場合は山側からできるだけ離れて避難）

☆：洪水時に2階以上利用可

(4) 児童数・生徒数及び学級数の変化

① 小学校の児童・学級数の推移と将来推移(推計)

本市の平成15年(2003年)から平成31年(2019年)の小学校の児童数の推移をみると、17年間で34%(959人)減少しています。学級数については、児童数の減少に伴い26%(36クラス)減少していますが、少人数での学級編成で対応しているため、児童数ほどの減少率には至っていません。

しかし、2045年の児童数が810人と、今後も減少していくことが推測されるため、学級数の更なる減少は必至です。

表 小学校の児童・学級数の推移
(市資料より※H15～H31 各年3月31日時点データ)

小学校	H15 2003	H16 2004	H17 2005	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	R12 2030	R27 2045
学級数	139	140	144	127	129	131	131	130	123	119	114	111	109	107	105	102	103		
児童数	2823	2761	2764	2720	2684	2686	2621	2614	2478	2420	2311	2234	2147	2035	1980	1911	1864	1253	810

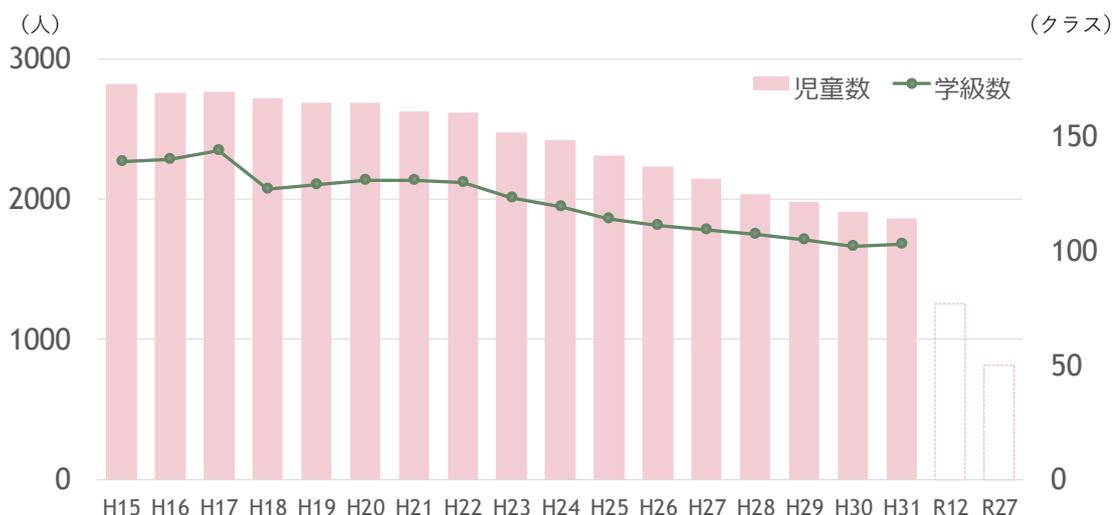


図 小学校の児童・学級数の推移
(市資料より※H15～H31 各年3月31日時点データ)

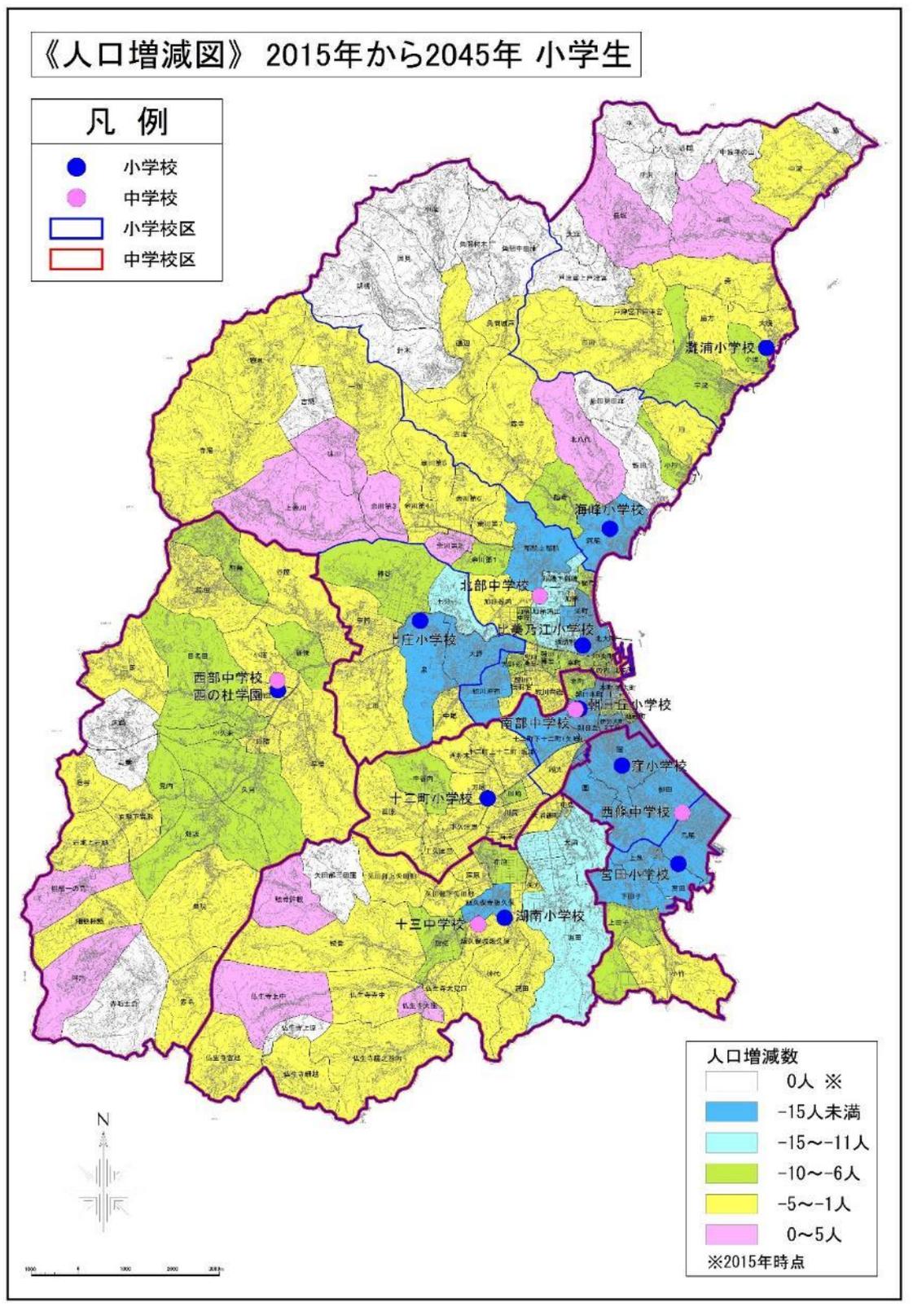
◎推計方法について

【児童数】

立地適正化計画(2014年に施行された改正都市再生特別措置法に基づく市町村が策定する街づくりの計画)等の計画で使用されるコーホート要因法を活用し、算出しています。

第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態



第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

② 中学校の生徒・学級数の推移と将来推移(推計)

本市の平成15年(2003年)から平成31年(2019年)の小学校の生徒数の推移をみると、17年間で33%(508人)減少しています。学級数については、生徒数の減少に伴い26%(14クラス)減少していますが、少人数での学級編成で対応しているため、生徒数ほどの減少率には至っていません。

しかし、2045年の児童数が423人と、今後も減少していくことが推測されるため、学級数の更なる減少は必至です。

表 中学校の生徒・学級数の推移
(市資料より※H15～H31各年3月31日時点データ)

中学校	H15 2003	H16 2004	H17 2005	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	R12 2030	R27 2045
学級数	54	52	49	48	48	46	51	48	51	49	50	48	48	48	44	43	40		
生徒数	1560	1512	1468	1423	1398	1346	1372	1326	1380	1322	1333	1257	1250	1232	1182	1133	1052	656	423

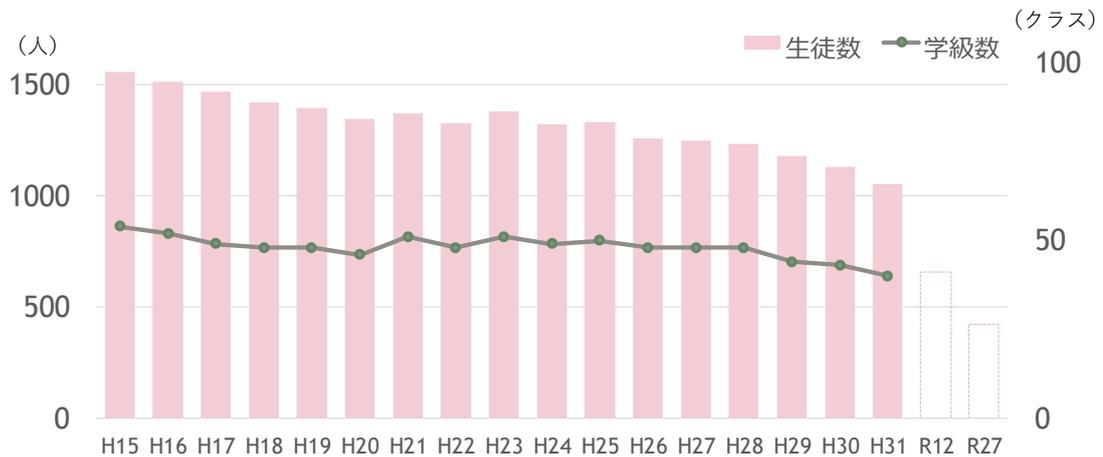


図 中学校の生徒・学級数の推移
(市資料より※H15～H31各年3月31日時点データ)

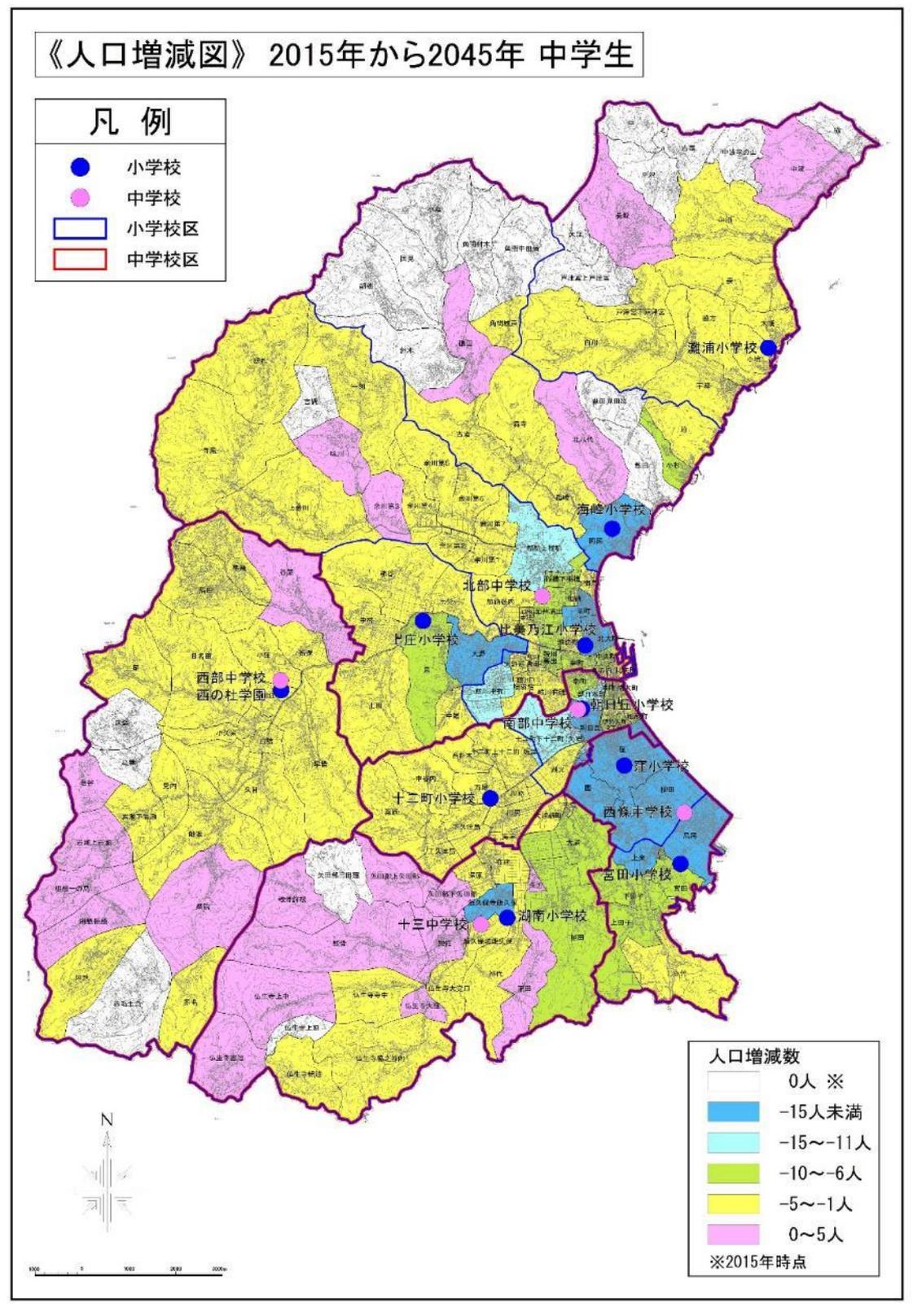
◎推計方法について

【生徒数】

立地適正化計画(2014年に施行された改正都市再生特別措置法に基づく市町村が策定する街づくりの計画)等の計画で使用されるコーホート要因法を活用し、算出しています。

第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態



第3章 学校施設の実態

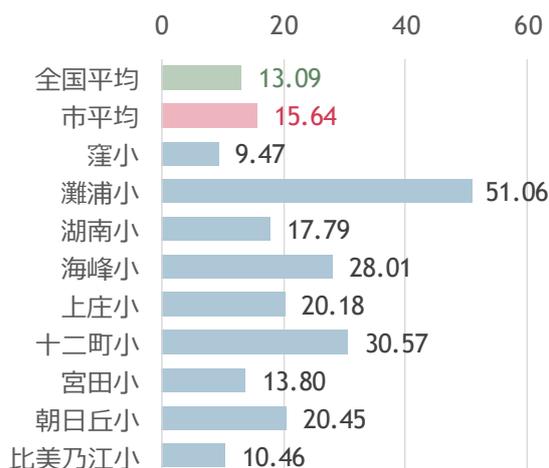
3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(5) 学校施設の校舎面積と児童生徒数の関係

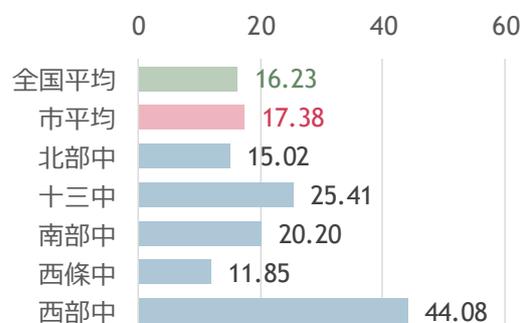
平成30年における各学校の児童・生徒1人当たりの校舎延床面積を比べると、窪小学校と比美乃江小学校、北部中学校、西條中学校は、全国平均を下回っています。

図表 児童・生徒1人当たりの校舎床面積(㎡)
(全国平均：「文科省公開の公立学校施設実態調査データ」より)

小学校	校舎面積 ㎡	児童数	児童 1人当たりの 校舎床面積㎡
全国平均			13.09
市平均	28,312	1810	15.64
窪小	4,519	477	9.47
灘浦小	2,400	47	51.06
湖南小	2,775	156	17.79
海峰小	2,157	77	28.01
上庄小	2,321	115	20.18
十二町小	1,773	58	30.57
宮田小	2,829	205	13.80
朝日丘小	5,072	248	20.45
比美乃江小	4,466	427	10.46



中学校	校舎面積 ㎡	生徒数	生徒 1人当たりの 校舎床面積㎡
全国平均			16.23
市平均	19,696	1133	17.38
北部中	5,886	392	15.02
十三中	2,465	97	25.41
南部中	3,918	194	20.20
西條中	4,562	385	11.85
西部中	2,865	65	44.08



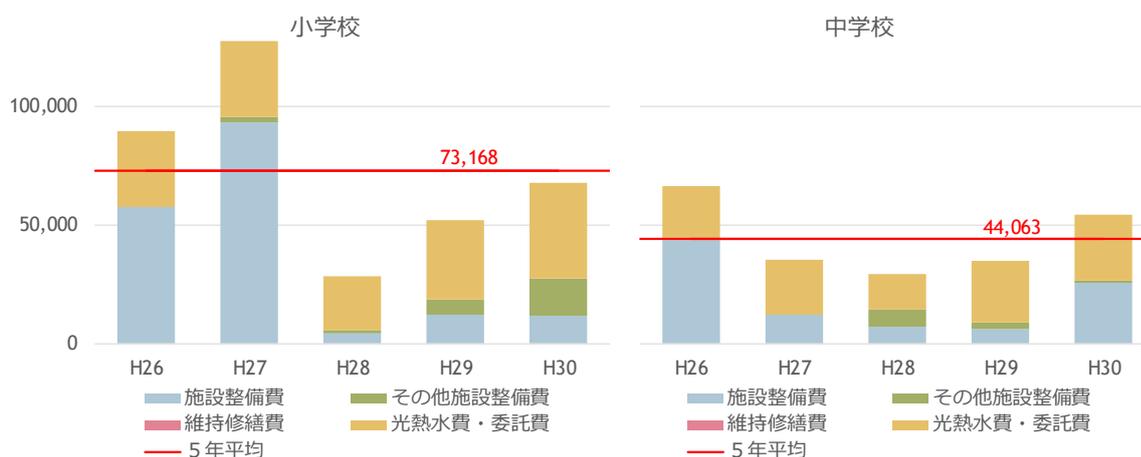
第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(6) 施設関連経費の推移

過去5年間（平成26年度～平成30年度）の施設関連経費は、小学校平均は0.73億円、中学校平均は0.44億円となっています。

近年、電気錠の設置や屋内運動場の改修工事等が実施されており、施設整備費は年度により金額のばらつきが大きくなっています。



図表 過去5年間の施設整備費の推移（市資料より）

小学校	H26	H27	H28	H29	H30
	2014	2015	2016	2017	2018
施設整備費	57,627	93,528	4,493	12,038	11,586
その他施設整備費	0	2,139	1,286	6,640	15,781
維持修繕費	0	0	0	0	0
光熱水費・委託費	32,144	32,144	22,583	33,256	40,593
合計	89,771	127,811	28,362	51,934	67,960

中学校	H26	H27	H28	H29	H30
	2014	2015	2016	2017	2018
施設整備費	43,495	12,150	7,053	6,289	25,847
その他施設整備費	0	0	7,368	2,490	627
維持修繕費	0	0	0	0	0
光熱水費・委託費	22,999	22,999	14,921	26,294	27,783
合計	66,494	35,149	29,342	35,073	54,257

全校分	H26	H27	H28	H29	H30
	2014	2015	2016	2017	2018
施設整備費	101,122	105,678	11,546	18,327	37,433
その他施設整備費	0	2,139	8,653	9,130	16,407
維持修繕費	0	0	0	0	0
光熱水費・委託費	55,143	55,143	37,504	59,549	68,375
合計	156,265	162,960	57,703	87,006	122,215

3-2 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性の評価

本市が保有する学校施設 41 棟の内訳は、新耐震基準が 22 棟、旧耐震基準が 19 棟であるが耐震化実施済みとなっており、躯体の耐震性は確保されています。

(2) 構造躯体以外の劣化状況等の評価

構造躯体以外の劣化状況等の把握については、現地確認を行ったうえで、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(文部科学省 平成 29 年 3 月)に基づき、劣化度の評価(A～D評価)、健全度の評価(点数算定)を行いました。

※現地調査結果は、令和元年 9 月時点のものとする。

■劣化度の評価 (A～D 評価) 方法

屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の 5 項目に分類し、評価を実施します。現況における損傷の有無に加え、損傷の程度や緊急性についても把握する必要があるため、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は各部位における改修・対策履歴からの経過年数を基本とし、下表の基準で A～D の 4 段階評価を行います。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

	評価	基準
良好 劣化	A	概ね良好
	B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
	C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
	D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

経過年数による評価

【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

	評価	基準
良好 劣化	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(文部科学省 平成 29 年 3 月)